

§ 抽象クラス

■ 抽象メソッドとは 処理内容が定義されない空のメソッドです

■ 宣言 `abstract 戻り値の型 メソッド名(引数リスト);`

メソッドの修飾子に **abstract** を付けます
メソッドの本体部は省略します
※省略はブロック"`{}`"ではなくセミコロン";"を書きます

■ 抽象クラスとは 0 または 1 個以上の抽象メソッドをメンバーにもつクラスです

■ 宣言

```
abstract class クラス名{  
    メンバー  
}
```

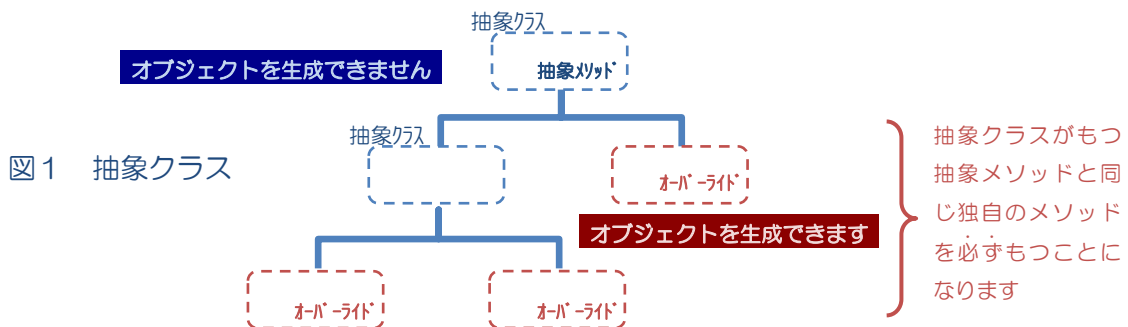
クラスの修飾子に **abstract** を付けます

- 1 個以上の抽象メソッドをメンバーにもつ場合
→ 必ず修飾子 **abstract** を付けます
クラスが抽象メソッドを含むことを明示します
- 0 個の抽象メソッドをメンバーにもつ場合
→ 修飾子 **abstract** を付けることにより、抽象メソッドをもたない抽象クラスとなります

■ 特徴 抽象クラスのオブジェクトを作成することはできません

■ 利用 拡張してすべての抽象メソッドをオーバーライドします
オーバーライドされない場合 → サブクラスは抽象クラスです

抽象クラス型の変数や配列としての利用は可能です



§ instanceof 演算子

■ instanceof 演算子 オブジェクトのクラスを調べます

■ 書 式 参照 instanceof クラス名

演算結果は boolean 型です

true ← 左辺のオブジェクトのクラスが
右辺のクラス、またはそのスーパークラスの場合
= 左辺のオブジェクトを右辺のクラス型の変数に代入可
false ← それ以外の場合

§ インタフェース

■ インタフェースとは 抽象メソッド、定数をメンバーにもつ型（インタフェース型）です
※この他、メンバーにはクラスやインタフェースの宣言をもたせることもできます

■ 宣 言

```
interface インタフェース名{  
    メンバー  
}
```

キーワード **interface** を用いてメンバーを指定します

インタフェースとそのメンバーは暗黙的に次の修飾子になります

- interface → abstract class
- メソッド → public abstract
- 変 数 → public static final

変数はすべて定数のため**コンストラクタは持ちません**

- インタフェース → コンストラクタの宣言はできません
- 抽象クラス → コンストラクタの宣言はできます

■ 特 徴 インタフェースの**オブジェクトを作成することはできません**

■ 利 用 実装して**すべての抽象メソッドをオーバーライド**します
オーバーライドされない場合→実装されたクラスは抽象クラスです

インタフェース型の**変数や配列としての利用は可能**です
インタフェース型の変数はクラスと同じで**参照型**です

定数は インタフェース名.変数名 でアクセスします
修飾子 **static** を付けるクラス変数と同じアクセス方法です

§ インタフェースの実装

- インタフェースの実装とは インタフェースをクラスと組み合わせることでクラスはインタフェースがもつメンバーを受け継ぎます

■ 宣言

```
class クラス名 implements インタフェース1, インタフェース2, ... {  
    メンバー  
}
```

キーワード **implements** を用いてインタフェースを指定します

インタフェースは**多重継承の仕組み**を実現します

- ・ クラスの拡張 → 単一継承
- ・ インタフェースの実装 → 多重継承

インタフェースのリストに

同じ戻り値、同じ引数、同じ抽象メソッド名がある場合は1つとみなされます

この他、

抽象メソッドのオーバーロードとオーバーライドは同様に行われます

§ インタフェースの拡張

- インタフェースの拡張とは クラスの拡張と同様にメンバーを継承した拡張が可能です

■ 宣言

```
interface サブインタフェース extends スーパーインタフェース1, スーパーインタフェース2, ... {  
    追加メンバー  
}
```

キーワード **extends** を用いてインタフェースを拡張します

インタフェースは**多重継承の仕組み**を実現します

スーパーインタフェースのリストに、

同じ戻り値、同じ引数、同じ抽象メソッド名がある場合は1つとみなされます

この他、

抽象メソッドのオーバーロードとオーバーライドは同様に行われます